

開倫塾教育目標について

高い倫理・高い学力・高い国際理解—自己学習能力の育成—

開倫塾
塾長 林 明夫

本年3月第2週の新学年から開倫塾のすべての教室に開倫塾の教育目標である

高い倫理
高い学力
高い国際理解
—自己学習能力を育てる—

の掲示がされたことに塾生の皆さんはお気づきのことと思います。そこで今回は開倫塾の教育目標についてお話をさせていただきます。

1. 「高い倫理」とは

「われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである。

われらは個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期するとともに、普遍的にしてしかも個性ゆたかな文化の創造をめざす教育を普及徹底しなければならない。

教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、国民の価値をたっとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身とも健康な国民の育成を期して行われなければならない。

教育の目的は、あらゆる機会に、あらゆる場所において実現されなければならない。この目的を達成するためには、学問の自由を尊重し、実際生活に即し、自発的精神を養い、自他の敬愛と協力によって、文化の創造と発展に貢献するよう努めなければならない。」

以上は、昭和22年(1947年)に制定された「教育基本法」の前文と、第一条(教育の目的)と、第二条(教育の方針)であります。日本国憲法の基本理念の根本に流れる「個人の尊厳」の大切さを教育に生かした場合、どのように考えるべきかを示した名文であります。

倫理とは何かという難しい問題はあるにしても、「人間の尊厳を大切に」憲法や教育基本法と

同意義に考えることが日本国民として最も適切な理解ではないかと思います。

*以上の基本的な考え方のもとに今後開倫塾では塾生の皆様に「マナー」や「エチケット」にとどまらず人間として必要な「仁」や「徳」についても指導を深めたく思います。

*但し、特定の宗教や思想についてかたよった指導はしないこと従来通りです。

2. 「高い学力」とは

「希望校に合格するに値するだけの学力」は最低限塾生になった方全員に身につけて頂くことが開倫塾最大の教育目標の一つです。「高い学力」を身につけることに何のためらいも要りません。誰に遠慮することなく「学力」増強にむけ全力を傾けるべきです。学年のワクにとられることなく、よくできる科目や分野はどんどん先の学年の内容まで学習し、理解不十分なところは学年を何年でもさかのぼって勉強しなおすべきこと、当然であります。「自己責任の原則」「自助努力 self-help」の精神で自分のことは自分で責任をもち、自分自身を助けるために努力をつみ重ねる前提として、誰にも負けない「高い学力」が必要となります。

*どのようにすれば「高い学力」が身につくかについて、自分自身でも十分考え、ある程度考えがまとまったら、余りためらわず実行してみることをおすすめします。「あれをどうしよう、これをどうしよう」と考えているだけでは一歩も先にすすみません。チャレンジ精神で「高い学力」を身につけることに挑戦してみてください。アクションをおこすことに少しも遠慮は要りません。

3. 「高い国際理解」とは

世界中のありとあらゆる国家、民族の間に「後進国」はありません。どの国も、どの民族もそれぞれすぐれた歴史・文化・宗教をもっています。「先進国」「後進国」という人もいますが、それはたまたま経済の状況がよいか否かだけのはなしです。本当の豊かさは「お金」だけでおしはかることはできません。「自然と精神」が豊かでなければならないからです。

開倫塾の塾生の皆さんは、是非いろいろな国に実際に出かけて、実際にものを直接見てきてほしいと思います。せっかく日本は世界 No.1 と言われるほど豊かなのですから、お金を無駄にしないで十分ためこみ、何年に1回かは若者ならではの「ケチケチ旅行」をすることをおすすめします。いろいろな国には、いろいろな人々が住んでいることを見るだけでも有益です。何回も外国に出掛けるうちに世の中では何が大切かが少しずつわかってきます。一つの国を何回も訪れることもとてもためになります。

なぜ「英語」を勉強しなければならないのかわからない人は、一度外国に行き、膚で必要性を感じてくるとよいでしょう。友だちが外国にできると日本の地理や、歴史、政治経済のことを勉強せずにはいられなくなります。日本語とは一体何だろうと「国語」の勉強、更には古典の勉強までしたくなります。

気に入った国家や民族・地域がでてきたら、新聞や雑誌の記事を切り抜き、TVの特集番組をビデオに採ることをおすすめします。いつの日か好きな国へ行ってこんなことをしてやろうと、「夢」をもつこともとても大事なことです。

日本ほど基本的人権の守られている国はないと考えます。学問の自由、表現の自由、海外渡航の自由と、ほんとうに何をするのも自由です。せっかくこれほどの自由が保障されているのですから、せいっぱい勉強をし、見聞を広め大きく世界にはばたいてもらいたいと希望します。

*そのためには、何といたっても「英語」を徹底的に身につけねばなりません。開倫塾で「実用英語

検定合格」にむけ全力をあげ指導しているのは、「国際理解」の前提が英語力であるからです。

4. 「自己学習能力の育成」とは

開倫塾の三つの教育目標である「高い倫理」「高い学力」「高い国際理解」の旗の下に、「自分自身で勉強する能力」（「自学力」と短く言う人もいます）を身につけることこそが、21 世紀を担うリーダーの資質といえます。

だれにたよることな、自らの定めたテーマを究めるため勉強する力を学生時代に身につけて頂きたいと思います。世の中に出て本当にキラリと光る人は、たえずその人なりのテーマを見つけて勉強しつづける人といえます。コツコツと 10 年、20 年と一つのテーマを定め勉強しつづければ、必ず日本でも一流のレベルにまで到達できます。「仕事」についていくつかのテーマ、趣味やスポーツについていくつかのテーマ、是非とも研究したいということについていくつかのテーマ（その中に「社会貢献活動」も是非一つ入れて頂ければ幸いです）を各々定め、何十年と「自己学習」すれば、本当に豊かな人生が送れます。

「学生」という切角の身分を有効に生かし、「学生」の仕事である「勉強」を自分自身の力で完遂できる能力を是非育成したいと思います。

*開倫塾ではあらゆる機会をとらえ、「勉強の方法」を具体的に示しつづけます。この「ニュース」やラジオ「開倫塾の時間」もその一つですので十分御活用下さい。

新学年がはじまりました。各自の目的達成にむけ、がんばりましょう！